

パブリック・エクスペリエンス・アワード

～自治体サイト部門表彰およびセミナー～

- 日時：令和元年 5月10日(金) 開場：13時30分 開演：14時
- 場所：トッパンフォームズビル 1階多目的ホール
- 定員：80名

参加費
無料

- 主催：パブリック・エクスペリエンス・アワード運営委員会
- 共催：株式会社アスコパートナーズ、ソシオメディア株式会社、トッパン・フォームズ株式会社(五十音順)
- 後援：一般社団法人ユニバーサルメニュー普及協会、一般社団法人オープンコーポレイツジャパン

●ごあいさつ

近年、行政に関わる海外のさまざまな取り組みの中に、「サービスデザイン」や「デザインシンキング」といった、実際の人々の行動や考え方を起点としてモノゴトを創り上げていくことが当たり前になってきています。その結果として、人々が世の中のさまざまなサービスや手続きなどを体験・経験する場面(エクスペリエンス)に着目し、そのエクスペリエンスを向上させていくことが不可欠となってきています。

この流れは、我が国の政府や自治体はもちろんのこと、病院や図書館、交通機関などのさまざまな「公共」部門においても切実な課題となっており、ここ数年で急激に数多くの取り組みや実践がなされてきています。そこでは、国や自治体にたずさわる行政の職員やその関係者たちが、人々と共創していく意識を持って、各種のアプローチを学びながら、まさに「公共」部門におけるエクスペリエンス設計を進めているのです。

国や自治体を始めとしたさまざまな「公共」部門に関わる行政機関が、住民や地域に密着した姿勢をもってエクスペリエンス設計を推進している活動のベストプラクティスを広く皆さまと共有することによって、新しい公共のあり方を共に創っていくこと。こうした想いやビジョンを、国や自治体、そして民間企業や利用者の皆さまと共有させていただくことを目的に、ここにパブリック・エクスペリエンス・アワード運営委員会を発足し、本イベントの開催を企画いたしました。

本イベントを通して、新しい「パブリック・エクスペリエンス」を創っていく、皆さまにとっての機運やそのきっかけづくりとなりましたら幸いです。

パブリック・エクスペリエンス・アワード運営委員会一同

こんな方に

役所内で、サービスデザインを実施したいが、そのやり方がわからない

デザインシンキングの重要性が、役所内で理解されない

デザイン思考が、ITやデジタル中心と誤解されている現状を変えたい

「デジタル手続き法案」についての講演も実施!

自治体にとっても今後の取り組みが不可欠な「デジタル手続き法案」についての最新情報をお聞きいただける絶好の機会です!

アワード参加の詳細・お申し込みは裏面へ

